We create chemistry

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

Go-Go-San 2FG Inert
ゴーゴーサン細粒剤Ｆ

用途: 農薬製品, 除草剤

供給者の会社情報、住所及び電話番号:
BASFジャパン株式会社
東京都中央区日本橋室町3丁目4番4号
OVOL 日本橋ビル 3階
電話番号: +81-3-5290-3000
FAX番号: +81-3-5290-3333

緊急連絡先:
電話番号: 03-6634-2245
+49 180 2273-112 (International emergency number)

2. 危険有害性の要約

【化学品のＧＨＳ分類】:
水生環境有害性　短期(急性): 区分 2
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 2

【ＧＨＳラベル要素】:

絵表示又はシンボル:

危険有害性情報:

H401	水生生物に毒性。
H411	長期的影響により水生生物に毒性。

注意書き:

P101	医学的な助言が必要なときには、製品容器やラベルを持っていくこと。
P102	子供の手の届かないところに置くこと。
P103	使用前にラベルをよく読むこと。

注意書き（応急措置）:

P391	漏出物を回収すること。

注意書き（廃棄）:

P501	適切に分別した内容物/容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄処理業者に廃棄を委託すること。

ＧＨＳ分類に関係しない又は ＧＨＳで扱われない他の危険有害性:
12章のPBT（難分解性、生物蓄積性、毒性を有する物質）とvPvB（難分解性と生物蓄積性が極めて高い物質）の評価結果を参照。
この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性があるGHS分類以外の危険性に関するものである。

アレルギー反応を起こす可能性がある。含有物： ペンディメタリン

3. 組成及び成分情報

化学特性

化学物質・混合物の区別: 混合物

農薬製品, 除草剤, 顆粒（GR）

ＧＨＳ分類に寄与する成分

石英（結晶質シリカ）

含有量 (W/W): >= 65 % - < 75 %	発がん性: 区分 1A (吸入による)
CAS番号: 14808-60-7	特定標的臓器毒性（反復暴露） (肺水腫/呼吸器系): 区分 1 (吸入による)
化審法: (1)-548	
労働安全衛生法: (1)-548	

カオリン

含有量 (W/W): >= 18 % - < 28 %
CAS番号: 1332-58-7

ペンディメタリン
含有量 (W/W): 2 %
CAS番号: 40487-42-1
労働安全衛生法: 4-(12)-561
急性毒性: 区分 5 (経口)
皮膚感作性: 区分 1B
水生環境有害性　短期(急性): 区分 1
水生環境有害性　長期(慢性): 区分 1

ポリビニルアルコール
含有量 (W/W): < 3 %
CAS番号: 9002-89-5
化審法: (6)-682
労働安全衛生法: (6)-682

1,4-ジメチル-2-（1-フェニルエチル）ベンゼン
含有量 (W/W): < 2 %
CAS番号: 6165-51-1
化審法: (4)-244
労働安全衛生法: (4)-244

2,4-ジメチル-1-（1-フェニルエチル）ベンゼン
含有量 (W/W): < 2 %
CAS番号: 6165-52-2
化審法: (4)-244
労働安全衛生法: (4)-244

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン
含有量 (W/W): < 2 %
CAS番号: 6196-95-8
化審法: (4)-244
労働安全衛生法: (4)-244

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム
含有量 (W/W): < 0.1 %
CAS番号: 577-11-7
化審法: (2)-3160
労働安全衛生法: (2)-1623
急性毒性: 区分 5 (経口)
皮膚腐食性／刺激性: 区分 2
眼に対する重篤な損傷／眼刺激性: 区分 1
水生環境有害性　短期(急性): 区分 2

4. 応急措置

[応急措置をする者の保護に必要な注意事項]:
汚れた衣服は取り替える。

[吸入した場合]:
安静にし、新鮮な空気の場所に移動させ、医師の診察を受けること。

[皮膚に付着した場合]:
石鹸と水で完全に洗い流すこと。

[眼に入った場合]:
直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。

[飲み込んだ場合]:
直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。

[医師に対する特別な注意事項]:
症状: 情報、すなわち症状および影響に関する追加情報は、2章で利用可能なGHSラベルのフレーズ及び11章で利用可能な毒性評価に含まれる。, (他の)症状や影響については現時点で知られていない。
処置: 症状に応じて処置(洗浄・機能回復)を講じる。特に解毒剤なし。

5. 火災時の措置

[適切な消火剤]:
粉末, 泡, 噴霧水

[使ってはならない消火剤]:
二酸化炭素

[火災時の特有の危険有害性]:
一酸化炭素, 塩化水素, 二酸化炭素, 窒素酸化物, シリカ化合物, 有機ハロゲン化合物
火災の場合、前述の物質／物質グループが放出される可能性がある。

[消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置]:
自給式呼吸器および耐薬品性保護衣を着用のこと。

[追加情報]:
汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。 汚染された消火廃水は法令に従って適切に処分する。 火災および/または爆発の場合に、ヒュームを吸入しないこと。 火に暴露された容器は噴霧水で冷却した状態に保つこと。

6. 漏出時の措置

[人体に対する注意事項, 保護具及び緊急時措置]:
粉塵を発生させない。 保護具を着用する。 皮膚、眼、衣服への接触を避ける。

[環境に対する注意事項]:
土壌中に放出しないこと。 排水溝等に流出させない。

[封じ込め及び浄化の方法及び機材]:
小量の場合: 粉塵結合剤で回収し、廃棄すること。
大量の場合: 掃き集めるかすくい取る。
粉塵を発生させないこと。法令に従って吸着剤を廃棄すること。廃棄物を適切な容器に集めること。容器は、ラベルの貼付および密封が可能な容器とする。 水および洗剤を用いて、汚染された床および物質を完全に浄化すること。環境法令を遵守すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

[取扱い]

適切に保管し取り扱えば、特別な対策は必要なし。 作業場の換気を十分に行う。 使用時には飲食または喫煙をしないこと。 休憩前とシフトの終わりに手や顔を洗うこと。

安全取扱注意事項:
粉塵を発生させない。 粉塵は空気と混合して爆発性混合物を形成する可能性がある。 静電気防止対策をとる。発火源を近づけない。消火器常備のこと。

[保管]

食品、動物飼料から隔離する。
保管条件に関する追加情報: 熱から離して保管すること。 直射日光を避ける。 湿気を避ける。

保管安定性:
保管期間: 48 月

次の温度以下にならないように保護すること : 0 ° C
長期にわたり安定貯蔵温度以下で保管すると、変質することがある。
次の温度以上にならないように保護すること : 40 ° C
もし、物質/製品を指示温度以上に長期間保管すると製品特性が変化することがある。

8. ばく露防止及び保護措置

許容濃度

カオリン, 1332-58-7;

TWA（time weighted average：時間加重平均） 1 mg/m3 (日本産業衛生学会　職業ばく露限度(JP)), 吸入性粉塵
TWA（time weighted average：時間加重平均） 4 mg/m3 (日本産業衛生学会　職業ばく露限度(JP)), 総粉塵
TWA（time weighted average：時間加重平均） 2 mg/m3 (ACGIHTLV), 吸入域フラクション
数値は、アスベストを含まず、結晶性石英の含量が1%未満の粒子状物質の値
TLV（threshold limit value：管理濃度） 0.025 mg/m3 (労働安全衛生法（JP)), 粉塵
暴露限界は、100%遊離シリカの値を用いて方程式3.0/[1.19*(% 遊離シリカ)+1]から計算される。
TWA（time weighted average：時間加重平均） 2 mg/m3 (日本産業衛生学会　職業ばく露限度(JP)), 吸入性粉塵
TWA（time weighted average：時間加重平均） 8 mg/m3 (日本産業衛生学会　職業ばく露限度(JP)), 総粉塵

石英（結晶質シリカ）, 14808-60-7;
CLV（ceiling limit value：上限値） 0.03 mg/m3 (日本産業衛生学会　職業ばく露限度(JP)), 吸入性粉塵
TWA（time weighted average：時間加重平均） 0.025 mg/m3 (ACGIHTLV), 吸入域フラクション

【保護具】

[呼吸用保護具]:
呼吸保護具の着用は不要。

[手の保護具]:
長時間にわたる直接接触でも問題ない素材でできた耐薬品性保護手袋（EN ISO 374-1）（保護指針6に準ずることが望ましい。EN ISO 374-1によると、透過時間は480分以上であること）：ニトリルゴム（0.4 mm）、クロロプレンゴム（0.5 mm）、ブチルゴム（0.7 mm）など。

[眼の保護具]:
サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル)（例 EN 166）

[皮膚及び身体の保護具]:
作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等（飛散の場合は、EN 14605に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982に従う。）。

[一般的な安全及び衛生対策]:
最終消費者の手に渡る農薬を取り扱う際には、使用説明書の保護具に関する記述を適用すること。上下一体型作業衣の着用が望ましい。 作業服は、他の物と分けて保管すること。 食物、飲料および動物用飼料から離して保管すること。

9. 物理的及び化学的性質

物理状態:	粒状固体
色:	黄色
臭い:	芳香臭
臭いのしきい値:	吸入による健康障害の可能性のために決められていない。
pH:	約 4 - 7 (25 ° C)
融点:	本品については試験していない。
沸点:	本品については試験していない。
引火点:	固体のため、未測定
蒸発率:	適用せず
可燃性 (固体/ガス):	構造もしくは組成に基づくと、引火性の兆候はない。
爆発下限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
爆発上限界:	この製品に関する当社の経験と組成に関する知識の結果、この製品が適切に、また意図された用途に使用される限り、どのような危険性も考えられない。
熱分解:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。
自己発火性:	構造特性から、この製品は、自己発火性に分類されない。
自己発熱性:	自己発熱性物質ではない。
爆発危険有害事項:	爆発性なし。
火災を引き起こす性質:	構造的特長に基づき、製品は酸化剤に分類されない。
蒸気圧:	本品については試験していない。

嵩密度: 約 1.1 - 1.4 kg/m3
(20 ° C)
相対ガス密度（空気）:
適用せず

水に対する溶解性: 分散可能
n - オクタノール/水分配係数（log Pow）:
適用せず

粘度:
固体のため、未測定

10. 安定性及び反応性

[避けるべき条件]:
製品安全データシートの第７項の取り扱い及び保管上の注意を参照すること。

熱分解: 通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

[混触危険物質]:
強塩基, 強酸, 強酸化剤

[危険有害な分解生成物]:
指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。

[危険分解物]:
通常の取扱い条件下で危険分解物なし。

11. 有害性情報

急性毒性

急性毒性の評価:
単回の経口摂取であれば、実質上毒性はなし。 単回の皮膚付着であれば、実質上毒性はなし。 吸入による毒性は実質上なし。

実験または計算によるデータ:
LD50（半数致死量） ラット (経口): > 2,000 mg/kg
死亡なし

(吸入による):本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

LD50（半数致死量） ラット (経皮): > 2,000 mg/kg
死亡なし

記載物質に関する情報： ペンディメタリン
実験または計算によるデータ:
LC50（半数致死濃度） ラット (吸入による): > 6.73 mg/l 4 h (OECDテストガイドライン403)
エアゾールで試験した。

刺激性

刺激性作用の評価:
皮膚刺激性なし。 眼刺激性なし。

実験または計算によるデータ:
皮膚腐食性／刺激性 ウサギ:

眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性 ウサギ:

呼吸器感作性又は皮膚感作性

感作性の評価:
皮膚感作の可能性に関する証拠はない。

実験または計算によるデータ:
改定Buehler試験 モルモット:

生殖細胞変異原性

変異原性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 変異原性試験では遺伝毒性の可能性は認められなかった。

発がん性

発がん性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 吸入率は<0.1%、従って吸入毒性の分類には該当しない。

記載物質に関する情報： 石英（結晶質シリカ）
発がん性の評価:
吸入するとがんを引き起こす恐れがある。 本物質は、動物試験において、癌を引き起こすことが確認された。 吸入可能な塵/エアロゾルの形状のこの物質とその化合物は、ドイツのMAK委員会によカテゴリー１がん原性（人に対して発がん性である）として分類されている。 国際癌研究機関（ＩＡＲＣ）は、この物質をヒトに対する発癌性が認められるGroup 1に分類した。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン
発がん性の評価:
ラットを用いた長期の実験において、この物質は甲状腺腫瘍を誘発した。 この結果は、人に対応しない動物特有のメカニズムによるものである。 この物質を餌によって与えたマウスの長期の試験において、発癌性は、観察されなかった。

生殖毒性

生殖毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 動物実験の結果から、生殖能力低下は認められなかった。

発生毒性

催奇形性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 動物実験において、母体毒性を示さない濃度では生殖能力の低下は認められなかった。

特定標的臓器毒性（単回ばく露）:

単回暴露評価:
利用できる情報に基づくと、単回ばく露後に予測される特定標的臓器毒性はない。

注意: 本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

特定標的臓器毒性（反復ばく露）

反復投与毒性の評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。 吸入率は<0.1%、従って吸入毒性の分類には該当しない。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン
反復投与毒性の評価:
動物への反復投与試験の後、物質特有の臓器毒性は、観察されなかった。 動物試験における反復曝露の後、適応できる効果が観察された。

記載物質に関する情報： 石英（結晶質シリカ）
反復投与毒性の評価:
吸入性結晶質シリカの長期間または反復して吸入した場合、珪肺症を引き起こすことがある。 反復吸入による暴露は肺に炎症をもたらす可能性がある。 本品を繰り返しの吸入すると、肺重量の増加および肺の組織変化を引き起こす可能性がある。

記載物質に関する情報： カオリン
反復投与毒性の評価:
肺胞に到達する粒子/埃を繰り返し吸入摂取すると、肺に損傷を起こす可能性がある。

誤えん有害性

予測される吸入危険性はない。
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

その他該当する毒性情報

誤用により、健康を損なうおそれがある。

12. 環境影響情報

生態毒性

水生生物に対する毒性の評価:
長期的影響により水生生物に毒性。

魚類に対する毒性:
LC50（半数致死濃度） (96 h) 14 mg/l, コイ（学名：Cyprinus carpio） (半止水式)

水生無脊椎動物:
LC50（半数致死濃度） (48 h) 13 mg/l, オオミジンコ（学名：Daphnia magna） (止水式)

水生植物:
EC50 (72 h) 2.6 mg/l, 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit

無影響濃度 (72 h) 0.22 mg/l, 緑藻（学名：Pseudokirchneriella subcapit

移動性

環境区分間の輸送評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン
環境区分間の輸送評価:
水面から大気中へ徐々に揮発する。
土壌曝露後には土壌の固形粒子に吸着する可能性が高いため、地下水の汚染は生じないものと思われる。

残留性・分解性

生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン
生分解性及び除去率の評価（水中環境）:
容易に生分解性されない（OECD基準による）

生体蓄積性

生体蓄積性の可能性評価:
本品は未試験である。本記述は、各成分の特性に基づくものである。

記載物質に関する情報： ペンディメタリン
生体蓄積性:
生物濃縮係数: 3,300
証拠の重要性に基づき、この組成は、生態蓄積性ではない。

[追加情報]

その他の環境毒性情報:
前処理なしに河川等に流してはならない。

13. 廃棄上の注意

地方自治体の規則に従って、適切な焼却施設に依頼する。

[汚染された容器]:
使用済みの容器は出来る限り空にしてから製品と同様の方法で廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国際陸上輸送:

容器等級:	III
国連番号:	UN 3077
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHSM
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)(内容物 ペンディメタリン)

海上輸送
IMDG

容器等級:	III
国連番号:	UN 3077
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHSM
海洋汚染物質:	該当
品名（国連輸送名）:	環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)(内容物 ペンディメタリン)

Sea transport
IMDG

Packing group:	III
ID number:	UN 3077
Transport hazard class(es):	9, EHSM
Marine pollutant:	YES
Proper shipping name:	ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains PENDIMETHALIN)

航空輸送
IATA/ICAO

容器等級:	III
国連番号:	UN 3077
国連分類（輸送における危険有害性クラス）:	9, EHSM

Air transport
IATA/ICAO

Packing group:	III
ID number:	UN 3077
Transport hazard class(es):	9, EHSM

品名（国連輸送名）: 環境有害性物質(固体)(他に品名が明示されているものを除く。)(内容物 ペンディメタリン)	Proper shipping name: ENVIRONMENTALLY HAZARDOUS SUBSTANCE, SOLID, N.O.S. (contains PENDIMETHALIN)

[追加情報]

国内輸送規制はSDSの15章を参照のこと。
下記の規定に基づき、正味5kg以下の入目で適切な容器で出荷される製品に対してnon-DGとして適用される。:
ADR, RID, ADN: Special Provision 375;
JT/T617.3;
IMDG: 2.10.2.7;
IATA: A197;
TDG: Special Provision 99(2);
49CFR: §171.4 (c) (2).

15. 適用法令

消防法: 非危険物

石英（結晶質シリカ）
労働安全衛生法
通知対象物

石英（結晶質シリカ）
労働安全衛生法
表示対象物

ペンディメタリン
化学物質排出把握管理促進法
第1種指定化学物質
2.0％
政令別表第1：49

1,4-ジメチル-2-（1-フェニルエチル）ベンゼン
2,4-ジメチル-1-（1-フェニルエチル）ベンゼン

ジメチル(1-フェニルエチル)ベンゼン
化審法
優先評価化学物質
ジメチル（１－フェニルエチル）ベンゼン
通し番号：220

スルホコハク酸ジ-2-エチルヘキシルナトリウム
化審法
優先評価化学物質
通し番号：213

表示すべき危険有害性決定要素: ペンディメタリン

その他の規則

人と環境に対するリスクを避けるために、用途に関する指示を遵守すること。

16. その他の情報

【JIS Z 7252/7253： 2019準拠】 本SDSに記載されていない必要項目は、情報がないことを示す。

左余白の縦線は前バージョンからの改訂部分を示す。

本安全データシートに含まれるデータは、当社の最新の知識及び経験に基づいて製品を安全性基準の観点からのみ説明するものであり、製品の特性（製品規格）を説明するものではありません。また、当該製品が特定の目的に適した性能・特性を有しているか否かを判断するためのものでもありません。本製品の使用者は自己の責任において製品に関わる特許等の所有権を尊重し現行の法律及び規則を遵守して下さい。